

## 第2章 計画策定の考え方

### 1. 計画の基本理念

子ども・子育て支援法に基づく基本指針における、子ども・子育ての意義に関する事項では、「子どもは、社会の希望であり、未来をつくる力である。子どもの健やかな育ちと子育てを支えることは、一人一人の子どもや保護者の幸せにつながることはもとより、将来の我が国の担い手の育成の基礎をなす重要な未来への投資であり、社会全体で取り組むべき最重要課題の一つである」としています。

この指針を基に本計画における「基本理念」、「基本的な視点」は、次のとおりです。

#### 【基本理念】

親子の成長をみんなで支え  
安心して子育てできる  
子どもと親の笑顔があふれるまち 北見

すべての子どもたちは、おおきな夢と希望をもって生まれてくるとともに、次代を担う大切な存在です。そのこどもの権利や幸せは、最大限に尊重され、守らなければなりません。

すべての子どもが、健やかに育つためには、保護者が笑顔で、喜びや生きがいを感じながら安心して子どもを生き育てられる社会環境の充実が必要です。

北見に生まれ育ったことに誇りを持てるよう、子どもの視点に立ち、あたたかな心でふれあえるまちを次世代に残せるような取り組みを進めるとともに、子育て・親育ちを地域全体で支えるまちを目指します。



## 2. 計画の基本的な視点

- 子どもが育つ環境づくり  
(子どもの健やかな成長の支援)
- 子育てしやすい環境づくり  
(家庭における子育て支援)
- 子育て親育ちを支える地域づくり  
(地域や企業など社会全体での支援)

### (1) 子どもが育つ環境づくり (子どもの健やかな成長の支援)

子どもは、一人ひとりがかげがえのない存在として大切にされ、権利、自由そして幸せが尊重されなければなりません。子どもの健やかな成長は、社会全体の願いであり、子ども自らが多くの人々との関わりや様々な経験を通して、生きていることの喜びを実感しながら、次代を担う自立した大人へと成長するという長期的な視野と子どもの視点に立った取り組みを支援します。

### (2) 子育てしやすい環境づくり (家庭における子育て支援)

すべての世代に影響を与える少子化や人口減少が進む中、多様化した個別ニーズに柔軟に対応するとともに、子育てと仕事の両立支援のみならず、子育ての孤立化などの問題を踏まえ、子どもを産み育てる男女が協力して家庭を築き、子育てに喜びや生きがいを感じながら、子育てを通して親も成長する環境づくりを支援します。

### (3) 子育て親育ちを支える地域づくり (地域や企業など社会全体での支援)

次代を担う子どもの成長は社会にとっても大切な存在であり、子育てしている家庭だけの責任ではなく、社会全体で支援する必要があります。子どもが成長していく姿を地域で見守り、支え、子どもの笑顔がみんなの心をつなげ、社会全体が育ちあえるような愛情あふれる地域づくりを支援します。

### 3. 計画の体系

